

第19回 佐賀県地域年金事業運営調整会議 議事概要

開催日時：令和5年8月30日（水）13時30分～15時30分

開催場所：グランデはがくれ フラワーホール（佐賀市）対面型式

出席者：委員 13名中9名出席

オブザーバー：県内年金事務所長2名（唐津、武雄）

議 事

1. 開会

2. あいさつ

- ・日本年金機構 佐賀年金事務所 山口 一成 所長
- ・佐賀県地域年金事業運営調整会議 平部 康子 委員長

3. 委員等紹介

4. 議題

議題 1 令和4年度事業実施結果報告

資料2 第19回地域年金事業運営調整会議資料により令和4年度の取組実施状況について説明し、確認いただきました。

議題 2 令和5年度事業計画

資料2 第19回地域年金事業運営調整会議資料の「令和5年度事業計画」により説明。

○令和5年度地域年金展開事業活性化に向けた活動について（個別検討課題）

事務局から個別課題として現状報告を行ない、以下のテーマで各委員との意見交換を行いました。

※年金セミナー・年金制度説明会の開催について、更なる実施拡大を図るため、各委員が所属する部署や関係機関が主催者として開催する会合等での要請の機会付与と、主催者でない場合、会合等を開催する担当部署や担当者の紹介を依頼しました。

- ・毎年11月に開催している「ねんきん月間」「年金の日」の取組みについて、年金事務所だけで実施する広報活動には限界があるため、各委員が関係する市町、教育関連団体、各種関係団体との共同開催が可能なイベントがあれば、共同開催の検討を依頼し、了承いただきました。

各委員より、議題1、議題2及び議題3に関する質問・意見・要望をいただき、今後の取組に活かしていくこととしました。

【委員からの主なご意見・ご質問等】

○年金セミナーを実施している学校は、こちらからのアプローチにより実施したもので
ですか。実施後のアンケート結果はどのような結果になっていますか。

(事務局)

- ・特別支援学校を含む県内の全ての教育機関に対し、事前にセミナーの開催案内を送付し、実施希望の場合は管轄の年金事務所までご連絡いただくよう案内しています。セミナー実施後のアンケートでは、「年金という言葉は知っていたけど遺族・障害年金は知らなかった。」「年金を通して世代と世代の支え合いも大切にしていきたいと思った。」「もしもの時に保険の役割を果たす年金があるのは素晴らしい。」等、セミナー後公的年金に対するイメージが良くなったと答える学生・生徒の割合は約80%となっています。次回以降、感想などの資料掲載について工夫いたします。

○地域年金推進員が配置されていると思いますが、どのような活動になっているのですか。また、年金局が開催している大学生との対話集会を参考にする事で大学でのセミナー開催に繋がるのではないですか。

(事務局)

- ・県内に校長経験者の地域年金推進委員が1人配置されていますが、学校の授業の都合とスケジュールが合わないことが多く、活用が十分とは言えないと思います。公立・私立高校の校長会で職員がセミナー開催の要請をいたしました。興味を示していただく学校が少なく、今後の活用方法については推進委員とも相談しながら対応していきたいと思います。大学での年金セミナー開催については、九州厚生局とも連携しながら実施拡大を図りたいと思います。

○若年者向けの広報について、郵送等の従来の手法では周知したい内容が届いていない可能性が高いです。Z世代と言われる若者の中にはフェイクとファクトを分けて判断できない方々もおられる中で、どのようなインターネットやSNSを活用した広報を実施していますか。

(事務局)

- ・対外的な広報につきましては、日本年金機構本部で対応しており、各県の年金事務所段階では実施していませんが、分かりやすい広報に努めて参ります。

○ねんきん月間のマスメディアの活用について、プレスリリースはできるだけ早いほうが良く、年金の日を特別扱いにしたりセミナーを絡めたり目玉になるようなイベントがあると記事にしやすいと思われます。

(事務局)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。今後の取り組みの参考にさせていただきます。

す。

○数年前は外国人向けのセミナーを実施していたと思いますが、現在は実施していないのですか。また、若年者や外国人向けのチラシを充実して欲しいです。

(事務局)

- ・外国人留学生を対象とした日本語学校で実施していたセミナーは、納付相談会に切り換え２００人程度の留学生に対し学生納付特例制度の周知と申請書受理を実施しています。